

問 今後の小学生と中学校編入は

答 より良い教育環境の整備



加藤 克之 議員 やとみ志政会

問 市内小学生 令和6年度、7年度の新1年生入学予定者数は。

答 学校教育課長 令和6年度328人、7年度312人。

問 ランドセルの代わりに、リュックサックを使用することは。

答 市長 本市では通学カバンの規定は設けていない。各家庭で考え、適切なかばんの選択を。

問 編入後の弥富中学校の生徒数は。

答 学校教育課長 729人。

問 編入される中学校の施設と整備は。

答 教室や職員室の改修工事を行う。

問 編入するまで部活動の対応は。

答 両校の合同練習は今後増える。

問 編入する中学校の閉校式を行う考えは。

答 令和7年3月修了式後に行う。

問 通学路の安全確保はどのような考えか。

答 生徒目線での意見を学校運営部会に提出し、再編後の通学路について対応。

問 教育長の見解は。

答 教育長 「一人一人が輝き、よく学び、心豊かにたくましい弥富の子」を目指す児童生徒像とし、生きる力を身に着けるため、より良い教育環境を整えていくよう進めていく。



▲十四山中学校

問 給食をエシカルに!

答 栄養教諭とも相談し実施予定

問 栄養士の配置対応は。

答 4人体制。

問 年1回小学校にエシカルの提供は。

答 本年度、小学校1校においてエシカル食材を使用した給食を提供する予定。

問 当日子ども達へのエシカル給食の説明は。

答 説明する予定。

問 ※エシカル 「倫理的な」という意味で、全ては子ども達の未来のための食材を使用するもの。

答 市長 心身の健全な発達のため、今後も安全安心な学校給食の提供に努めていく。

問 教育長の見解は。

答 教育長 すべての小学校において自校給食を取り入れ栄養バランスの取れた豊かな食事を提供している。今後も安全・安心な学校給食を提供していく。

問 市長の見解は。

答 市長 心身の健全な発達のため、今後も安全安心な学校給食の提供に努めていく。

問 近隣市町村の取組状況は。

答 あま市が人参、玉ねぎ、愛西市が蓮根を使用。他市町村は使用なし。

